

各教育委員会より

現在、小学校で自閉症・情緒障害特別支援学級の担任をしており、8名の児童が在籍している。5学年にわたる多様な状況の児童に対して、適切に対応していることは、教職大学院での学習の成果であると考えます。また、特別支援教育コーディネーターとして、自身の担任する学級のみならず、他の特別支援学級の児童等についても支援を行っており、特別支援教育の面で学校の教育活動に貢献している。
修了生の実践はもとより、何事も進んで学ぼうとする姿勢が、他の教職員にもよい刺激となっているものと考えられる。
修了生の「働き方改革」に関する優れた研究実践は、町教委にも報告いただき、本町における取組の参考となった。
保護者や学年教師集団、関係職員等との連携・協力を大切にした指導を心掛けている。
日々の指導や学級経営において配慮しながら育て、伸ばす意識を常に持っている。
終礼時に「ほめほめタイム」を設定し、児童の自己肯定感や学級での帰属意識、認め合う心を育てている。
道徳の時間を大切にして、心を耕そうとしている。
中学年を担当してきているので、学んできたことや実践が、地域における教育活動に如何に関連し、資するものになっていくかは今後の児童の成長によるものと考えている。
児童理解や授業改善に積極的に取り組み、充実した共通実践を生み出したいという意識を持ち、努力している
所属校では、研究主任として「主体的・協働的に学ぶ力を育む」の推進役として尽力している。
的確に状況を把握し、計画を持って取り組むことができる。